

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

「観光ホスピタリティ論」を学ぶ上で、観光ビジネスにおける観光サービス全般をしっかりと学んでいただきます。ホスピタリティの内容は、業種によって異なり、また、企業によっても異なります。行政や民間企業等での実務経験に基づき、観光ビジネスを展開する多様な企業のサービス事例を説明し、そこにどういったホスピタリティがあるのかを分かり易く講義します。また、変化の激しい観光業界の将来のホスピタリティの方向性についても講義します。

授業計画

第 1 回	授業ガイダンス：授業計画と成績評価の方法及び観光ホスピタリティの概略
第 2 回	観光と観光サービス
第 3 回	観光の歴史
第 4 回	国内旅行
第 5 回	海外旅行
第 6 回	訪日外国人旅行
第 7 回	観光行政
第 8 回	観光ビジネス
第 9 回	旅行業ビジネスとホスピタリティ
第 10 回	宿泊業ビジネスとホスピタリティ
第 11 回	観光交通ビジネスとホスピタリティ
第 12 回	観光施設ビジネスとホスピタリティ
第 13 回	観光まちづくりとホスピタリティ
第 14 回	ニューツーリズムとホスピタリティ
第 15 回	観光ビジネスとホスピタリティ（まとめ）
第 16 回	定期試験

到達目標

- ①観光サービスを考える上で、観光ビジネスは、どのように分類され、どのような業種があるのか基本的な要素を理解する。
- ②各業界における観光ホスピタリティの現状を理解し、そこにどのような狙いがあるのか、また、今度どのような方向に進んでいくのかを考える能力を養う。
- ③実務家が、産業界や行政で実際に体験した取り組みを紹介することで、理論だけでなく、実務との関連がしっかり理解できるようになる。

履修上の注意

授業内容は変更になることがあります。ホスピタリティ論は、今後、外国人とのコミュニケーションで重要となりますので、受講をお勧めします。

予習・復習

予習：次回の授業のトピックに関する情報をインターネットなどで「おもてなし」をキーワードに調べると授業が理解しやすくなります。また、常日頃から、新しい観光サービスの動向に敏感になっておいて下さい。
復習：授業で説明したテキストの箇所を必ず見直してください。

評価方法

筆記試験(90 点)+受講態度(10 点)

テキスト

- ・教科書名：観光学サービス論 観光を初めて学ぶ人の 14 章 第 1 版
- ・著者名：安田巨宏
- ・出版社名：古今書院
- ・出版年 (ISBN)：2015 年 (ISBN978-4-7722-3166-4)